

平成29年度第2回南丹市社会教育委員会議 会議録

日時 平成29年9月25日（月）午後1時30分～午後3時30分

場所 南丹市役所 2号庁舎3階 301会議室

会議出席者（順不同、敬称略）

社会教育委員 麻田健治、大嶋久美子、岡島賢峰、北村友子、小南 仁、
清水範子、冨田陽子、中野愛子、片山敏哉、三觜宏孝

市教育委員会 森教育長、山内教育次長、寺田社会教育課長、浅田課長補佐
辻課長補佐、森社会教育主事、村下社会体育係長

傍聴人 0名

1. 開会 司会（事務局）

2. あいさつ及び教育長諮問 森教育長

本日はご多用の中、第2回の社会教育委員会議に出席いただき、厚くお礼申し上げます。第1回の会議の中で本年度の依頼もさせていただいたが、ワールドマスターズゲームを通して少しずつ市内のスポーツ熱も高まってきているこの時、スポーツ推進計画の策定について協議いただきたい。国の計画を基に、本市ならではの計画づくりを策定していけるよう、ご提言を頂けると有り難く思うので諮問書を渡させていただく。

諮問書を教育長から中野代表に交付

あいさつ 中野代表

第2回の社会教育委員会にご参加いただき有り難く思う。本日は大変重要な諮問をいただいたので協議を進めていきたい。

3. 協議事項

（1）南丹市スポーツ推進計画の策定について

・諮問書及び今後のスケジュールを踏まえて

ワーキングチームを作り動いていただいている。ワーキングチームについては、麻田会長をはじめ3名を軸にして進めたい。今後、1～2回ワーキングチームでの会議を行い、並行して競技団体等に意見聴取を進めていき、意見をまとめ推進計画として最終教育委員会に提案することとなる。答申については、次回社会教育委員会議で素案の確認をしよう予定。

○意見等

- ・健康寿命の延伸は、生涯を通して重要な考え方だ。
- ・「いつでも」「どこでも」「誰でも」「いつまでも」と、“いつまでも”が入っているのはうれしい。
- ・この夏は第3回京都丹波トライアスロン大会が催された。2020年には東京オリンピック2021年にはワールドマスターズゲームズも開催が決まっている。スポーツに対する関心が高まっている時に策定するのは良いタイミング。
- ・スポーツに参加しにくい層である青年、障がい者、団に入りにくい小学生等興味関心を持ってもらう機会の提供ができればよい。
- ・南丹市内の社会体育施設の利用申請方法や料金について利用者には大変わかりにくいので統一できればと思う。

ワーキング委員を中心に推進計画の策定を進め、答申案についても年度内の社会教育委員会議で検討してもらう。

4. その他

○近畿地区社会教育研究大会に参加して

- ・今回は京都で開催。大変多くの方に参加していただき盛会で終わった。
- ・各分科会、熱心に発表をしていただき意見交流も活発に行われた。様々な意見が聞けて大変良かった。

○全国社会教育研究大会北海道大会に参加して

- ・地域には必ずキーパーソンがいる。その人を中心に地域レベルを上げることができる。
- ・楽しく学ぶ実践者であること。地域で人と人とのつながりを作る。地域で活動をつなげていく。地域で人材育成のために情報収集し人のつながりを広げる。
- ・ボランティア活動、無償のものは参加しにくいのかなと感じた。

5. その他

・南丹地区社会教育連絡協議会管外研修

12月14日 京丹波町竹野地区、サロン見学と地域連携の取組事例を発表の予定

・南丹市人権教育講座第3講について

・南丹市文化祭等について

南丹市立文化博物館「麻田浩～小さな絵の世界～」展のご案内

南丹市日吉町郷土資料館「湖底に眠るふるさとの記憶」展のご案内